



審査員リレーエッセイ ⑨

From

愛媛県西条市

吉井 久典

(よしい ひさのり)

Profile

専門分野：ISO 9001・ISO 14001・ISO 45001・ISO/FSSC 22000—損害
保険代理店発掘と育成他、食肉店および食肉加工業経営、
商品開発、営業、品質管理、5S運営管理指導

経歴：特定非営利活動法人再生支援せとうち/株式会社ファーム
ソレイユ、インターテック審査員（現職）



審査員からのエッセイをお楽しみください。

「組織のイメージアップと健康経営」

審査先の小規模会社では、若手社員
の採用が3年間で5名実現され、業績は
右肩上がりとなっていました。その内容
の一端を紹介させていただきます。

組織が採った戦略は「①組織のイメ
ージアップと②健康経営」の浸透でした。

①スポーツ事業の支援（応援すること
で新入社員も含めた社員間の連帯が



深まり、社内のチームワーク向上に繋がる）、ラッピングバスの利用、SNSのリニューアル、本社の改装。

②民間のトレーニング施設利用の補助、スポーツイベントへの参加、ランニング通勤（役員が実践）の奨励。健康づくり推進宣言、健康経営優良法人認定。上記の活動により、指定病院でのメンタルヘルス検査では良好な結果でした。

連載 「ゆるぐ時代と、つなぐ力」 ②

環境よみもの

「現場から始まる『つなぐ力』」

船井 勲 Isao Funai

品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステム主任審査員/IRCA認定 品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステム主任講師

■ 気候変動とAIの時代に、ISOをどう活かすか

前回は、揺らぐ時代においてISOマネジメントシステム規格（以下、ISO）が、企業の持続可能性を支える「つなぐ力」になり得ることを述べました。気候変動の進行やAI技術の急速な普及は、企業活動の前提条件そのものを大きく変えつつあります。しかし現場では、「人が注意すれば防げる」「AIがあれば大丈夫」といった考え方が、かえってリスクを増幅させている可能性もあります。

人は疲労や思い込みからヒューマンエラーを起こします。一方でAIも万能ではなく、誤ったデータや前提条件のもとでは誤判断をします。ISOが目指しているのは、こうした不確実性を個人の能力や注意力、あるいはAIに委ねるのではなく、仕組みとして固定化し、非常時を含めて再発を防ぐことにあります。

■ 気候変動と非常時への備え

近年の気候変動は、猛暑、豪雨、台風、地震などの自然災害リスクを高め、企業活動の継続性そのものを脅かしています。これらはもはや「想定外」ではなく、「起こり得る前提」として捉える必要があります。

過酷な環境下や災害時には、通常時以上

にヒューマンエラーが発生しやすくなり、判断の遅れや情報不足が被害を拡大させます。したがって気候変動対策としては、環境負荷低減にとどまらず、顧客対応や従業員の安全確保を含めた、組織自身のBCP（事業継続計画）および非常時対応を組み込んだISOの構築・運用が不可欠です。

■ AI活用と非常時対応の関係

AIは平常時には効率化や精度向上に大きく貢献しますが、非常時には必ずしも万能とは限りません。想定外の事象や学習データに含まれない状況では、誤った判断を示す可能性があります。そのためAIを活用する場合でも、非常時には人が介入し、判断を補正できる体制を、あらかじめ仕組みとして定めておくことが重要です。

ISO 14001やISO 45001における緊急事態の特定、テスト、見直しといった準備・対応やBCPの一部として、企業活動をAI任せにしないという意味決定は、人的資源による確実な緊急対応とも言えます。これらを手順や役割分担として明文化しておくことが求められます。

■ ヒューマンエラーとAI依存を「流れ」で防ぐ

ISOが優れている点は、平常時だけでなく、

非常時を含めた一連の仕組みとしてリスク管理を行うところにあります。

想定されるヒューマンエラー、AI依存、自然災害による混乱を洗い出し、

- ・非常時を含めて手順化する
- ・教育・訓練や訓練型BCPにより定着させる
- ・実施状況を監視・測定する
- ・マネジメントレビューで有効性を確認する

この継続的改善により、リスクは個人の問題ではなく、組織として管理される課題になります。

■ 経営と現場をつなぐ固定化の仕組み

ISOは、平常時・非常時を問わず、誰が対応しても一定水準を保てるよう固定化する仕組みです。

気候変動による災害リスク、ヒューマンエラー、AI依存を個別の問題として扱うのではなく、BCPを含めた統合的なマネジメントとして整理することが、これからの企業経営に求められています。

不確実な時代だからこそ、平常時だけでなく非常時にも耐える仕組みを持つこと—それが、ISOが持つ本質的な価値だと、私は考えています。